

平成 29 年度 フォローアップ研修

【指導カススキルアップ研修】

概要：「根拠に基づく看護」をテーマとした研修会の企画と実施・評価

・研修生の施設の新人を対象とした「卒後 3 ヶ月フォローアップ研修」を企画し実施した。研修内容は、フィジカルアセスメントについてフィジコを使用しての研修とした。



* 研修生の感想・意見 *

- ・実施までのタイムスケジュールも慎重に考えたが、時間は足りなかったり、事例検討での役割説明が不足であったり、トラブルはあったが、メンバーで協力でき進めることができた。
- ・フィジカルアセスメントを伝える自分たちも、どのように言ったら伝わるのか、実践を考えて+αで講義ができるよう指導する力がもっと必要だと痛感した。
- ・グループワークの際、なかなか進まなかったが、相手の発言を待つことやファシリテーションもうまくできていたと、当該施設の看護部長より講評があり安心した。
- ・企画から実施まで時間がなく、メンバー間の打ち合わせも十分にできないまま、それぞれの分担の中で内容を準備し大変だった。
- ・短時間ではあったが、新人それぞれが3ヶ月目の振り返り、意見をまとめられたことは、成長の証なのかと嬉しく頼もしく感じた。
- ・新人のみんなのたくましい成長が見れて、とても満足だった。

【看護研究ステップアップ研修】

概要：研究計画書を作成し、計画に基づき研究を実施しまとめた。最終日には、各自それぞれがまとめたものを発表し、意見交換を行った。



* 研修生の感想・意見 *

- ・ブラッシュアッププログラムで作成した計画書に基づいて、研究を実際に進めることができた。苦手意識が少し薄らいだように思う。
- ・自分で決めたテーマだけに興味がわいてきて、アドバイスをもらうことで、少しずつ研究をする自信も持てるようになった。
- ・やり終えた達成感はもちろん、協力していただいた方々のありがたさ、予想外の結果が出る面白さを学べました。
- ・もっと研究を身近に考えることで、たくさんの研究テーマがあると思った。またやってみたいと思えるようになった。
- ・完成までには至らなかったが、一人でここまで研究を進められ、研究についての知識も深まり、今後自分の職場での実践、指導にもつなげられる自信にもなった。

【地元医療連携ステップアップ研修】

概要：相互理解連携論の「連携をすすめる上で必要なスキル 1」の講義・演習に参加し、コミュニケーション・ファシリテーションについて学んだ。



* 研修生の感想・意見 *

- あらためてコーチングしようとするのが難しく思ったが、実際何気なくやっているのだと気づいた。
- 患者や対象の思いを引き出す話の聞き方や、話の仕方を再度学習することができた。
- 理屈ではわかっているが、現場では自分自身の行動に取り入れるためには、自分自身が変わっていく必要があると思った。
- 今の学生さんとも直接話をしてみて、とてもしっかり話ができたり、積極的に演習に参加できたりする姿をみて、自分の学生時代と比べ、アクティブで感心した。